



2021年11月11日

各位

会社名 株式会社 イメージ ワン
 代表者名 代表取締役社長 新井 智
 (JASDAQ・コード2667)
 問合せ先 執行役員管理部長 早生 信彦
 (TEL 03 - 6233 -3410)

通期業績予想の修正、営業外費用及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2021年11月11日開催の取締役会において、以下のとおり、2020年11月12日に公表しました2021年9月期(2020年10月1日～2021年9月30日)の業績予想を修正することを決議いたしましたので、お知らせします。

1. 当期の業績予想数値の修正(2020年10月1日～2021年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	2,400	100	70	50	4.89
今回修正予想(B)	2,435	△331	△413	△503	△55.44
増減額(B-A)	35	△431	△483	△553	—
増減率(%)	△2.2%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年9月期)	1,979	△452	△583	△601	△81.67

2. 修正の理由

当社は、主力であるヘルスケア事業の商品力強化に軸足を置いたうえで、新規事業に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は前回予想を上回る見込みですが、営業利益及び経常利益ならびに当期純利益においては、前回予想を下回る見込みです。

売上高については、ヘルスケアソリューション事業、地球環境ソリューション事業ともに、期初の予定どおり、事業活動等を進める事が出来たため前回予想を上回る見込みであります。

営業利益については、両事業において利益率の低い大型案件が数件発生しており想定以上に原価費用を計上した結果、営業利益において、前回予想を下回る見込みです。

一方、創イノベーション株式会社(以下、「創イノベーション社」)に対しての資金貸付147百万円につきまして、同社の財務状況を鑑み回収可能性の見直しを行い、貸倒引当金に68百万円として営業外費用で計上した結果、経常利益において、前回予想を下回る見込みです。

また、創イノベーション社に対して出資した株式38百万円につきましても、同社の財務状況を鑑み「金融商品に関する会計基準」に基づき評価した結果、投資有価証券評価損38百万円として特別損失で計上しており、持分法適用会社である株式会社エンパワープレミアムの株式について累積赤字等の影響により実質価額が低下したことから、2021年9月末時点において関係会社株式評価損24百万円を特別損失に追加計上することといたしました。

当社は、今後とも「人の健康と地球環境」の分野において、IT医療と再生可能エネルギー及び環境事業を通じ、健康な長寿社会とクリーンなエネルギー社会の創造に貢献してまいります。

3. 営業外費用の計上について
上記2. 修正の理由をご参照ください。

4. 特別損失の計上について
上記2. 修正の理由をご参照ください。

(注)上記の予想は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によってこれらの予想数値と異なる可能性があります。

以 上